

住民意見交換会の意見に対するＪＲ東海の回答を報告します

平成 25 年 6 月 大鹿村

大鹿村が開催した「リニア中央新幹線事業に対する住民意見交換会」（平成 25 年 2 月 19・20 日）において、村が抱えるリニア工事の課題について村民の皆様へ説明し、多くのご意見をいただきました。村ではＪＲ東海環境保全事務所（長野）に意見の内容を説明し、ＪＲ東海の考え方を回答いただくことができました。回答の内容は以下のとおりです。

具体的には今年秋頃に公表される準備書で説明するという回答となっておりますが、ＪＲ東海にリニア事業に対する村民の意見・要望を認識してもらう良い機会となりました。今後一層ＪＲ東海と大鹿村民の対話を通して、リニア工事による生活や環境への影響を最小限にするための計画づくりが進められるよう要望してまいります。

ＪＲ東海の回答

【水資源・環境への影響】

村民意見：水資源や温泉への影響は、工事後 1～2 年では現れない場合があり、5 年・10 年後の影響は工事との因果関係を所有者が証明することはできません。工事後の調査継続や全村水源調査を要望し、村民に不利益とならないようしてください。また、景観への影響や大気質の汚染などが心配です。

村からの要望：工事後の影響が心配されるため、工事後の調査は何年間行われるのか。また、南アルプスの地質や断層などの情報が少ないため、全村の範囲で水源調査を要望したい。

ＪＲ東海回答：これまで地形、地質調査を実施してきており、断層等の状況については、十分把握しています。また、工事の施工においてもトンネルを掘削しながら地質状況を確認するなど注意深く配慮し、万全を期して工事を進めていきます。

- ・水資源については、工事により影響が生じるおそれがあると考えられる範囲において、準備書でお示しするルートに関連するものについて調査を実施します。
- ・工事着手前には、地元（水利用者）の皆様にご説明をします。また、トンネル工事中も河川流量、井戸水位観測、水質調査等の水文調査を行うなど、継続的に監視し、減水等の兆候が認められた地区では、地元の皆様の生活に支障をきたさないことを第一とし、応急対策を実施します。トンネル工事完了後も流量観測等を継続し、必要に応じて、地元の皆様とお話しをしながら恒久対策を実施します。
- ・工事後の調査については、工事中の状況等を踏まえ調査期間、調査地点を決めていきます。なお、工事完成後においては、鉄道施設を維持管理していく中で、湧水量等の状況も把握していきます。

村からの要望：大鹿村の景観や大気質に関する影響について、現時点の考えを回答願いたい。

J R東海回答：景観、大気質への影響については、環境影響評価において、調査、予測及び評価を実施し、今年の秋頃に公告予定の環境影響評価準備書において、その結果をお示しします。

【水資源・環境への影響】

住民意見：工事により想定外の影響が発生したとき、行政としてチェックする機能を備えてほしい。また、村と利用者、J Rの三者できちんと影響を確認する体制を作ってほしい。

村からの要望：工事中・工事後の確認体制を構築できるかなど、考え方を回答願いたい。

J R東海回答：工事の実施に際しては、工事計画等に関する説明会を開催し地元住民の方々にご理解いただけるよう努めます。

- ・工事期間中は、村等の関係機関と連絡調整を密接に取りながら工事を進めるとともに、地元住民の方々からのご意見等を直接お伺いする窓口を設けます。

【道路問題】

住民意見：小渋線に片道数百台が通行する場合、どのくらい渋滞を起こすのか数字で示すなど強く要望してほしい。小渋線は私たちの生活道路です。2車線への改良はどのように考えていますか。

住民意見：既存の道路を利用して釜沢から土砂を搬出するには、大変な道路改良が必要になると思います。先に青木から釜沢にトンネルを掘り、それを利用して土砂を搬出すれば道路改良も不要となり、環境にもよいのではないのでしょうか。道路や施設の新設の設置により、大西山から見る旧小渋橋と赤石岳の風景に傷をつけないでほしい。

村の見解：県道赤石岳公園線を通行して土砂を搬出することは困難だと訴え続けています。搬出道路の新設やトンネルなど、適切な方法を検討するようJ R東海に要望しています。

【リニア計画について】

住民意見：約 10 年間大鹿村が工事現場となり、住環境に害をこうむることを村民は懸念しています。斜坑を掘って工事現場とするのではなく、山梨県側及び豊丘村側から土砂を搬出することで、松川インター大鹿線など道路改良のコストが抑えられると考えます。J R東海に工法変更を提案して下さい。

村からの要望：小渋線（松川インター大鹿線）の2車線化改良の必要性、国道152号及び赤石岳公園線の改良方針、道路計画の協議方法について回答願いたい。

- ・環境影響の低減とコスト削減から本抗を使った土砂搬出方法について、J R 東海の考えを回答願いたい。

J R 東海回答：工事の概要や全体の工事の進め方については、今年の秋頃に公告予定の環境影響評価準備書においてお示しします。

- ・大鹿村内及び大鹿村に連絡する道路は地形的に制約が多く迂回路も少ないことから、できる限り既存道路（松川インター大鹿線、国道152号及び赤石岳公園線等）を活用し、道幅の狭い箇所等は改良を加えて使用することを基本として考えています。工事で使用する道路については、工事計画の具体化に合わせて、県・関係市町村、関係機関と調整を図りながら協議を進め、具体化した工事用道路については環境影響評価準備書においてお示しします。
- ・工事開始前に実施する工事説明会等を通じて、地元の皆様にご理解を頂きながら計画を進めます。

村からの要望：大西山から見る旧小渋橋と赤石岳の風景保全の考え方について回答願いたい。

J R 東海回答：鉄道施設の存在等に伴う景観への影響については、環境影響評価において、赤石岳を含む景観資源を対象に、主要な眺望点からの景観の変化の程度について調査、予測及び評価を実施し環境影響評価準備書において、その結果をお示しします。

以上がJ R 東海環境保全事務所（長野）からの回答報告です。

今回の報告に対しまして村民の皆様からご質問などありましたら、下記へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

大鹿村役場総務課 担当：長尾 勝、島崎英三

TEL0265-39-2001